

2020年度 ルネサンス大阪高等学校 学校関係者評価

氏名:三溝 雄史

ルネサンス大阪高等学校との関係:外部スクールカウンセラー(公認心理師・臨床心理士)

評価日時:2021年10月22日

【学校自己評価に対するコメント】

本校でスクールカウンセラーとして勤務しております。職種上、生徒指導や教育相談を中心に評価を致します。

文部科学省による「高等学校通信教育の現状について」の資料(2020年1月15日)によりますと、近年、通信制課程の生徒数は増加傾向にあります。その中でも私立通信制高校の生徒数が大きく増加しており、2019年5月1日現在、約140万人の生徒が通信制高校で学んでいます。本校でも2020年度の入学者は、前年度より増加しています。こうした現状におきましても、本校では、通信制高校としての特色を生かして、インターネットを有効に活用して、教育支援や情報提供を効果的に行い、さらに、教育環境や教職員体制を充実させて、生徒数の増加に対応しています。また、インターネット上でのやり取りだけでなく、来校した生徒や保護者とは直接対面で面談をするなどして、生徒や保護者との信頼関係の構築に努めています。

次に、文部科学省による「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」の資料(2021年10月13日)によりますと、全国の小中学校で2020年度に不登校だった児童生徒は約19万人で、過去最多となっています。また、新型コロナウイルスの感染回避のために長期間登校しなかった小中高生は3万人を超えています。全国で不登校児童生徒が増加している中で、本校でも、小中学校で不登校であった生徒や、全日制高校で不登校になり転入してきた生徒も在籍しており、こういった生徒に対する支援も重要な課題となっています。学習意欲が低下していたり、心身の調子を崩して学習に影響がでてきている生徒もいますが、担任教員が、学習意欲が向上するようにサポートしたり、生徒や保護者の相談にのっています。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった外部専門家とも連携しながら、対応にあたっています。2021年2月からは、スクールカウンセラーによるWeb会議ツールを用いたカウンセリングシステム(オンラインカウンセリング)を新たに導入して、教育相談体制の充実を図っています。

最後に、いじめ防止対策推進法や児童虐待防止法といった法律を踏まえて、子どもの安全を守ることも、学校における重要な責務となっています。教職員に対して、いじめや虐待に対応できる指導力や資質の向上が求められています。また、校内に設置されているいじめ対策委員会や、児童虐待に対応するためのチーム会議を通して、普段からアンテナを張って情報を収集・共有し、外部専門家とも協力しながら、組織的に対応することができる生徒指導・教育相談体制の充実が、今後さらに重要であると考えられます。